

バス停付近

宮の台住宅バス停付近から清中にかけて道端を観ると草花たちが小さな花を咲かせています。ホトケノザ、カラスノエンドウ、セイヨウタンポポ、ナズナ、ヒメオドリコソウ、オオイヌノフグリ



ホトケノザ



カラスノエンドウ



セイヨウタンポポ



ナズナ

り、…。清瀬中に向かう途中は、花盛りです。

花が咲かない植物も勢いを増しています。下の写真はご存知ですか？ツクシと呼ばれて



山梨図鑑 HP より

います。土筆という漢字をあてます。ツクシはこのシダ植物の名称ではなく、“スギナ”と言います。地上部分が杉に似ているのでこの名称がついたといえます。一般的には、スギナの“杉に似ている部分”（右の写真）をスギナ、胞子をもった茎の部分をツクシと言っているようです。花が咲く植物、咲かない植物、それぞれに個性があって、かたくなに自己主張するこの季節の姿に癒されています。



ヒメオドリコソウ



オオイヌノフグリ



清瀬中の生徒たちも、春の小さな草花同様に、それぞれの輝きが勢いを増してきて、これからが楽しみです。9日、学年集会を行い、今年度の目標について語りました。また、新し



い先生の挨拶もありました。学年主任の話でどの学年にも共通していた内容は「自主」「自立」「自律」です。いずれも主体的に物事に取り組むことは、これらを育くむ一つの要素となります。本校の教育は、物事の基本は教授する、その先の応用は生徒たちの力によって作り出す。力を引き出すために、与えすぎない、教えすぎない、指示しすぎない、導きすぎないの“四ない”を実践します。生徒たちに自ら考える場面を与え、自ら行動に移す力を育みます。

清瀬中教職員一同、令和7年も全力をつくします。